

令和6年度 『学校関係者 第三者評価』

評価委員会：3月11日（火）16：30～

出席者

- A 様：社会福祉法人施設長
- B 様：主婦
- C 様：主婦
- D 様：エネルギー・住宅関連会社社長
- 校長 宮下靖広
- 教頭 大村 慎
- 教頭 渡邊知秀（書記）

《学校運営》

- ・各項目の評価について高い水準を維持している点は評価できる。
- ・生徒と教員の関係が良好であることは、実業高校の大きな特色であり、今後も大切にしてほしい。

《教育活動》

- ・昨年度の評価でも指摘された学校評価アンケート（生徒）質問 11「小テストや宿題の設定について」に関して、改善が十分に進んでいないため、引き続き検討が必要である。
- ・学校評価アンケート（教職員）の各ポイントが低下している傾向が見られる。教育活動の充実と、教職員のやりがいを考慮した働き方の両立に向け、さらなる努力を期待したい。
- ・凶悪犯罪の低年齢化が報道されていることを踏まえ、引き続き心と人権に関する教育を推進してほしい。
- ・生徒—教員間だけでなく、保護者—教員間でも気軽に相談できる環境づくりに工夫を凝らしてはどうか。
- ・運動部に所属する生徒も多いため、アンチドーピングに関する教育も導入すると良いのではないか。
- ・雪害時の緊急避難など、旭川の地理的特性を踏まえた防災教育の充実を図ってほしい。

《その他》

- ・実業教育を広く世間に周知するため、SNS を活用した広報活動の導入を検討してはどうか。

※以上、関係者の評価を基に意見をまとめた。

特に、来年度の各科年間計画・方針会議において、これらの意見を考慮し、今後の教育活動に活かしていきたい。